



ばーばとじーじのあつたか〜い保育施設

南足柄市シルバー人材センター「ばーば倶楽部」(南足柄市)

景気回復の兆しが見られるものの、依然厳しい状況が続く高齢者の雇用情勢。その一方で、少子高齢化によって若年層が減少し、労働力人口の高齢化も着実に進行していくと考えられる中、様々な経験や技術を持つ高齢者の力を、経済社会に最大限に活用していくことのできる多様な雇用形態や、就業機会をどう確保していくかが課題となっています。

今回は、高齢者の知識や子育て経験を生かして地域のお母さんを応援しようと、認可外保育施設「ばーば倶楽部」(以下、倶楽部)を運営する、南足柄市シルバー人材センターの玉野真永さんにお話を伺いました。

専業主婦を対象に一時預りを開始

倶楽部は、国の「高齢者活用子育て支援事業」の一環として、昨年の八月に活動を開始しました。

「事業を立ち上げるにあたってまず考えたのが、親と同居されている世帯も多く、保育所などの子育て支援機関も十分に足りている

という当市にあって、地域のお母さんが子育て支援を必要としているのかということでした。そこで、他県の取り組み事例を学んだり、地域で子育てに関する要望の高い内容を検討したりした結果、主に専業主婦で子育てをするお母さん



高齢者の皆さんの大きな懐に包まれて、子どもたちは伸び伸びと楽しくすごします

たちを対象に、事業を進めていくことになりました」と玉野さん。

主要駅からほど近い、お寺の境内にある民家を拠点に活動する倶楽部は、月曜日から金曜日の九時から十八時までの間で、一時間単位で利用することができます。

「男女二十一名の高齢者のほか、保育士や看護師資格を持つ三名の子育て支援コーディネーターが、交代で勤務しています。現在登録されているお母さんは百七十名。

高齢者の気持ちに余裕のある穏やかな保育は、安心して子どもを任せられるととても喜ばれています。また、専業主婦が子育てをするのは当たり前といった風潮も依然ある中であって、世間体を気にせず利用できる施設の存在は、お母さんの心の負担軽減にもつながっているようです」

玉野さんのお話しでは、倶楽部を通じて、地域の子どもたちと高齢者だけでなく、高齢者同士の交流も生まれているということ、地域の新しい関係づくりのきっかけにもなっているようです。

「施設整備や職員配置などの体制づくりや運営費の確保など、課題も多くありますが、高齢者が活躍できる場として、また子育て支援の選択肢の一つとして、さらにより良く継続できるように努力したいと思います」と今後の抱負を語ってくださいました。(企画課)

ばーば倶楽部

☎0465-173-2660

URL <http://miramishigarahp.net>

infoseek.co.jp/ba_ba_club.htm

— 社会福祉施設の設計監理 —

株式会社 安江設計研究所
YASUE & ASSOCIATES' Inc.

東京都港区高輪2-19-17-808

TEL03(3449)1771(代) / FAX03(3449)1772

E-mail: BCH12011@nifty.com



A 保育園 (川崎市)



新築・増築・改修等お気軽にご相談ください